

刊日二十月一十



定額 (一部多額) 一月五拾圓 郵費五圓  
 廣告料五拾圓 十二字拾一行金五拾圓  
 印刷所 常磐毎日新聞社  
 電話 六三〇〇  
 印刷所 常磐毎日新聞株式会社

### 僧侶方の當惑顔

▽お坊さんの悩みは解消された

真 繼 雲 山

◎皆さんが寺院に参詣されたり佛事法要の時など、譯の分らぬお経をしばしばお聞きでありませう。

◎ナムカラタンノウ……とか、サラバタタヤタとか、ジンバラ……とかいふのは皆な有り難い陀羅尼として知られてゐます。

◎中でも法華經廿六品のマニマメマメ……以下の陀羅尼を誦すれば病氣が治るといつて唱へることは日蓮宗では有名であります。

◎斯うした真言や陀羅尼が一体全體どういふ意味をもつてゐるのであらうかといふことは、それを朝晩佛前に稱へる信者としては是非知りたいた問題であります。

◎ところが信者が知ることが出来なかつたばかりでなく、實は肝腎のお坊さん達も今日まで、それを知ることが出来なかつたのです。◎といふのは元來、陀羅尼は梵語の音そのまゝで傳來してゐるので陀羅尼は翻譯すべからずとの鐵則により、それを翻譯した書物が今日まで絶無であつたから

です。

◎なせ翻譯されなかつたかの説明は後日に譲ります。がとにかく、そのため意味を知らずに佛前にさげねばならぬお坊さんの悩みは大きいものがあつたのでありませう。

◎信仰上の自己矛盾の苦

【朝】味噌汁——玉菜 小付  
 かぶ 千枚漬  
 【晝】油揚 甘辛煮 あさづ  
 【晚】鶏肉鍋 鶏肉焼 豆腐  
 生しひだけ ねぎ

悩は眼をつむつて済まし得るにせよ信者から陀羅尼の意味を質問された時に答へることの出来ない僧侶方の當惑は全く氣の毒なものがあります。

◎尤も佛教信者の大部分は、さうした文意を知らずともせずになく無意識、盲目的に稱へて來たのであります。が、佛教復興の波に乗つた求道者が眞剣に目覺めて來た今日では、僧侶のお

困りになる機会がますます多くなりなりました。

◎さうした少數の篤信家と良心的な僧侶方の要求に應ずるために今回新學に關する日本唯一の權威者たる臨濟宗大學教授伊藤古鑑師が『真言陀羅尼の解説』なる新著を公刊されました。同師が多年同大學における講座の講本を基礎として結集されたる日本最初の著述であります。

◎右の『真言陀羅尼の解説』は百九十頁誰にも分る總ふりかな附、定價壹圓五十錢送料八錢で東京市神田區神保町三日本佛教新聞社から出版されました。ハガキにて同社あて御申込になれば、これ以上に詳しい真言陀羅尼の語と同書の内容見本が無代進呈されます。

### 看護婦急派

求めに應じます

ます

平町南町

看護婦急派

電話三〇七

過般列車遭難の奇禍に際しては早速御懇篤なる御慰問を辱ふし感激の至りに奉存候、爾來高久病院に入院加療中の處漸く小康を得去る九日歸宅致し候に付乍他事御省念被成下度乍略儀以紙上御挨拶申上候

十一月十二日

平町大町

山野邊 陽

敬 具

### 最新編物大講習會

主婦の友 婦人俱樂部 婦人公論 婦女界 推獎

S式 高速度 編物機の

會期 十一月二十三日より四日間

會場 平町田町 ハシモトヤ糸店

時間 毎日午前九時より午後四時迄

會費 會期中金一圓也

講師 東京大日本編物研究会

特 典 特派 西田 豊野 先生

會期中專賣特許エス式編物機を無料で御貸し申上げます

主 催 東京 大日本編物研究会

後 援 主婦の友 婦人俱樂部 婦女界

後 援 平町田町 ハシモトヤ糸店

後 援 元平町 田町

後 援 電話 十四番

### 三菱電氣コタツ特價販賣!!!

御申込は今直ぐにお忘れなく!!!

◆勧誘期間(十一月十一日ヨリ二十五日マデ)

冬を明らかにする電氣コタツは手間はかからず、瓦斯は出ず、温度はいつも適當で、危険もなく、電氣料金は特別ですからとても経済です。コタツは信賴の出来る三菱電氣コタツです。是非御宅でも御使用を!

電氣料金も特典提供中

東部電力株式会社

電話一五四番

容量	期間中		電氣料	
	定 價	期 間	電 氣 料	電 氣 料
60ワット	圓 5.50	圓 4.00	圓 4.00	圓 2.40
200ワット	7.50	6.30	7.20	4.20
300ワット	7.50	特價500	10.40	6.00
400ワット	12.00	9.00	13.60	7.80

ほねのぞき

桑原柔道整骨院

平町南町下電業七四

夜 診

胃腸科 内科

花柳病科 性病科

皮膚科

門 專

院醫 性病 胃腸 村松

(番七〇一町南町平)

療 間

藤沼醫院

平町・紺屋町 電話五〇七番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎 文庫 (申込次第規則書進呈)

電話六三〇番

### 委員を挙げ

### 併合の交渉

### 市制實現の前提

### 本格的運動に入る

昨報平町市制實現の第一前提として隣接飯野、神谷、平窪の全村合併及び内郷、好間の部落合併に關しては、昨日の委員會に於て直ちに此の方針に基き交渉を開始する事となり各部門より部長始め三名宛の代表者を交渉委員に擧げたが各村擔任は左記の如くにて來る十九日の飯野村を皮切りに順次本格的に交渉を進める事になった

(神谷)井上茂作、鈴木光吉、酒井清、堀喜一  
(飯野)關内正一、吉田五平、根本品藏、猪狩觀徳  
(平窪)野崎滿藏、佐々木龍若、馬目雅治、多田井笑次郎  
(好間)坂本隆藏、高橋龜松、小野伊佐治、荒川淺次郎  
(内郷)萩原義雄、吉田寅之輔、花澤久一郎、川崎文治

### 第三校通學道路

### 愈々改修實現!

### 近く土木委員會で附議決定

十年度道路改修工事としての立町より第三小學校前に至る延長九十二間、幅員三間の改修工事の件は來る十五日午後一時より平町會議室に土木委員會を開催して附議されることになったが地元負擔金千圓で尙土地の買収交渉決定に致らぬためこれが協議をなすが前記事項決定次第着工は來月上旬頃になると思はれる

### 持米が手薄で...

### 米價持越す

### 昨日の共同販賣

既報平農業倉庫は昨十一日午後三時より在庫米平の二十三俵は建値一俵當り十三俵、錦の十七俵計四十俵を共同販賣に附したが平の二十三俵は建値一俵當り十一圓二十六錢、錦の十七

俵建値十一圓十錢で落札したが農家の手持薄から前回と大差ない相場であつたが新米の出廻りは本月廿日頃からと見られて居る

### 赤井消防

### 勞力奉仕

赤井村消防組第二部並に第四部の組員約八十名は昨十一日同村地内高萩より西小

### 松村亨氏歸郷

平町松村醫院松村鐵郎氏令弟亨氏はかねて秋田縣山本郡醫院組合ニツ井病院在勤中の處此程名古屋醫大齊藤外科教室へ歸局した

### 芳墨を競ふ

### 福島書道展入賞

福島書道振興會主催の第七回福島書道展覧會は來る十六、七兩日福島市公會堂で開催されるが昨十一日審査の結果磐女並に平第二小學校の入賞者左の如く發表された

△警城高女校 大和田智恵子 石川清子 大樂たみ子 古市かをる 堀真代子 吉田親子 鈴木登美子  
△平第二校 (尋一)宮川幸子(尋二)弟子丸ハマ子 蛭田伸子(尋三)鈴木知恵子 (尋四)田卷隆子 鈴木静(尋五)大和田キヨ子 五十嵐澄子 大嶺悦中 (尋六)酒井良子(高一)佐藤久子(高二)鈴木省子 石井美智子

### 美聲の争覇

### 郡代表決定

### 平第一木田菊壽君出場

縣主催福島縣大唱歌會は來る十七日午後一時から福島市公會堂に開催、H.Kを通じて賞状を送る行ふが本郡代表として平第一小學校高一木田菊壽君が獨唱「幼き頃の思出」「雪の行軍」の二曲に出演の管で武藤訓導指導の下に目一猛練習中であ

### 納税デー實施に

### 濱三郡の打合せ

### 平第三小學校で

既報來る廿三日からの納税デー期間中の催しに就いて縣では來る十七日午前九時から平第三小學校講堂に濱三郡下各町村の收入役稅務主任等百餘名を招集して實施方法の具體案を協議する事になった

### 郡農議員

### 群馬縣視察

石城郡農會代議員左記八氏は來る十五日平驛發列車で群馬縣輕井澤高崎方面の農業視察に出發する

山田秋山藤之助 錦金成 鐵次 上遠野荒川熊藏 夏井渡邊泰衛 江名河野嘉雄 玉川野崎滿藏 大野吉田盛治 平窪草野彌

### 小運動會

### 入賞兒童

### 平第一校で

平第一小學校の小運動會は昨十一日午前八時から同校々庭で舉行されたが千五百の兒童折柄の寒さにめげず元氣一杯に勇躍したが個人競技一等入賞者左の如くである

△五十米決勝(尋一)小林久夫九秒一 △百米決勝

### 赤十字社で

### 新社員募集

日本赤十字社の普及徹底を畫る「赤十字デー」は來る十五、六、七の三日間全國一齊に行はれるが同平分會は此の赤十字デーの好機に新社員の募集をなすことになり正社員、特別社員、有功章社員の新規募集を前記期間内に役員總出動でやることになった

### 平職業紹介所報告

### 回入を求むる方

- △牛乳配達 廿才迄 尋卒 給料六圓
- △女中 廿才迄 尋卒 月給五圓仕着
- △農夫 六十才迄 日給五十錢
- △漁業雜役 卅才迄 月給十圓
- △粕入夫 卅才迄 月給十圓
- △豆腐賣子 四十才迄 給料歩合
- △料理見習 廿三才迄 月給七圓
- △雜役 卅才迄 尋卒 日給四十錢
- △土工夫 四十才迄 月給九十錢
- △人絹編織工 廿五才迄 高卒 日給七十錢
- △絹糸女工 廿才迄 尋卒 日給四十錢
- △採炭夫 四十才迄 日給一圓
- △回職を求むる方
- △配達人 卅才 尋二修
- △旅館番頭 卅四才 高卒

### 颯爽と寒空の下

## 各消防組検閲

平署管内三阪を筆頭に

平署管内秋季消防検閲は左記の如き日割で廿五日の三阪をトップに施行されることになった

△三阪廿五日午前九時中三阪小学校△澤渡廿六日午前九時澤渡小学校△豊間同日午前九時同村小学校△鹿島同日午前九時同村小学校△永戸廿七日午前十時合戸小学校△箕輪廿八日午前十時大字大利第一御筒置場同午後一時大字高野第二御筒置場△夏井廿八日午前八時同村小学校△平窪廿九日午前

九時同村小学校△湯本十二月一日午前十時舊校舍△内郷同日午前十時高坂グラウンド△警崎同日午前十時同村小学校△江名同日同時△江名町字南町△赤井、上小川、下小川十二月五日午前九時赤井第二小学校△好間八日午前九時同村小学校△玉川三日午前九時同村小学校△神谷十日午前九時同村小学校△高久十二日午前十時同小学校△飯野同日同時同小学校

### スピード時代に

## 躍る文化—平局市外電激増

世知辛い世相を反映して牛歩の郵便は嫌はれるか

平郵便局の窓口で十月中に賣つた切手代は二千三百四十四圓四十六銭、印紙は三百三十圓七十九銭で昨年同期に比較すると切手が十五圓三十九銭、印紙が四百十圓五十二銭といづれも減収して居るが交通機關のスピード化を裏書する電話使用料は一萬六千圓で前年同期より二百八圓五十四銭を増加してゐるのを初め市外電話料三千七十五圓三

十五銭で昨年より五百七十七圓二十六銭、電報料八百五十三圓三十三銭も七十八圓八銭と各々激増して分秒を争ふ世相を物語つて居る

### 川前に初雪

例年より早く空ツ風の吹き捲くる昨日今日の平地方は一足飛びにやつて来た寒気に愈々冬來るの感が街頭にも反映して早くもオーバー、二重廻等の冬仕度の姿が見られてゐる

が十一日早より降雨と共に低下した気温は遂に郡内山間部川前方面に例年より約十日も早く午前七時頃より井分間に亘つて初雪があり地方民を驚かした

### 東部教育會で

## 兩氏表彰さる

内郷村家政女學校助教諭田口ツヤ、江名町學務委員河野嘉茂の兩氏は去る十日双葉郡富岡小學校に開かれた演三郡東部教育總會で田口氏は廿年以上勤続者、河野氏は教育功勞者として表彰された

### 貧乏は辛いもの

## 折角の副業も傍觀

軍用被服製作にこの矛盾

平町職業紹介所幹旋にかゝる軍用被服の襦袢袴下縫製々作品の審査は本十二日午前十時より會議室で福島授産所囑託野村技手に依つて行はれたが今回の製作数は千餘組に達して成績好く僅かに二十組の不合格を見たのみで製作業者は平町のみに廿六名になり製作能率は縣下で五位の好成績にあ

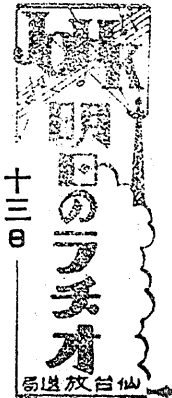
### 白米並みに

## 玄米も生産検査

生産者への福音

平穀物検査所管内の玄米生産額は昨年作十七萬石五十萬俵の多數に及んで居るが

郡下の玄米は従來産米検査を受ける機關が少なかつたので良質の米でも不良商人



天候 今夜は曇つたり晴れたり明日は北西の風晴曇半

### 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 童話劇「暴風雨の友情」胡蝶座  
後六、二五 青年の時間 「坂本龍馬を語る」文學博士 井野邊茂雄  
後七、三〇 講演 「東洋醫術の進歩に就て」中野康章  
後八、〇〇 尺八合奏 尾形虛靈他

### 明日の部

前七、〇一 英語講座(四ノ二)栗原基  
前七、三〇 朝の修養華嚴

經(九)河野法雲  
前八、四五 陸軍特別大演習觀式御模倣都城飛行場より中繼  
前九、一〇 料理献立 卵麵のそぼろ餡 小林忠雄  
前九、三五 陸軍特別大演習觀式御模倣都城飛行場より中繼  
前二、一〇 婦人思想講座 「藝術の起源」(二)谷川徹三  
後〇、〇五 金剛琴と月光 琴森田五郎社中  
後二、〇〇 女中さんの時間 「應接に對する心がけ」大妻コタカ  
後二、四〇 小學生の時間 高二「地理衣服の原料」青木良吉

後三、一〇 教師の時間 「我々に於ける學校放送利用の實際」榎部直人  
後六、〇〇 子供の時間 婦供の音楽會テアトルピッコロ作曲 並ビアノ伴奏 小林福子  
後六、二五 基礎英語講座(二十九)岡倉由三郎  
後七、三〇 講演 「國防と燃料海軍燃料」廠長海軍少將 山中政之  
後八、〇〇 空也念佛誦實況空也堂本堂より中繼  
後八、二〇 小唄  
後八、三〇 大合唱 第三回音樂週日比谷公會堂より中繼  
後八、五〇 ラヂオ小説 放送文藝懸賞當選作町の藤音坂卷春之助作

### 女青映畫の

## プロ決定

青年團の資金造成映畫會は既報の如く来る十八、九兩日午後六時半より平館で催されるがプログラム左の如く決定した

現代劇「ためらう勿れ若人」現代劇「最後の勝利者」時代劇「高田の馬場」他トキー漫画二點

### 聚樂館に

## 浪曲と映畫の夕

資金造成の水難救濟會活動

帝國水難救濟會福島支部は既報の如く事業資金造成と同會の主旨の一般普及徹底のため来る廿二日午後五時より平町聚樂館に同會事業宣傳會の左記の如き浪曲と映畫の夕(賛助券五十銭)を開催することになった

浪曲の部 中山安兵衛(京山若遊)越

### 電気コタツに

## 東部電力

冬のサービス

近づく寒さに各家庭では暖房設備に忙しい折柄東部電力會社平營業所で来る廿七日まで冬のサービスとして三菱電氣コタツの特價提供を開始し期間中屋内線無料貸付、取付工事無料、電氣料金割引等の特典を與へ向昨年使用者には無料で試験と手入等を奉仕の筈である



# 明治太平記

(上巻及下巻)

(作) 寺島雄史

第二百七十三回

## 俄か頭目 (七)

「さうだ、天竺の言葉に甘へて此場は一先づのがれようか。」と大志賀は心の裡に思つた。

「はやく」天ぢくはいら立たしさに叫ぶ。

邏卒たちは、一步々々前進してくる。ホテル館の用人たちは、はや階段を下りていつた。窓の下へ廻つて待ちうけようといふのだらう。

「では、天ぢくたのむぞ」大志賀はさういつておとわの手を執つた。「仁義はあとにしろ、はや」

「ありがたい」

大志賀は、足腰の立たぬおとわを介抱して、窓口へよろめきながら近寄つた。

「それッ！ 遁すな」邏卒たちは、どつと雪崩を打つて大志賀の背後に迫つた。

「おのれ、雑兵ども」その間に立塞つた天ぢくは、ざんばら髪を振かきり

形相物凄くねめつけ、腰間の一刀の鞘を拂つた。「さア来い。片つ端から撫斬だ」

邏卒たちは、三尺棒でそれらに應じ「官吏に手向ひいたすと不爲だぞ」

「おのれ！」つゝ、突進する奴を、今度は背後から……。

その時、病み呆けたおとわは、負ふた大志賀は、窓口か、また麻繩をすがつてさうと地上へおりていつた。

「それ！」巡察 半數は、それを潮に、どつとばかり室の外へ流れ出

階段、ひけおりの音人々喧騒。天ぢくは、血力をぎげたま、居残つた巡察たちに云つた。



「神妙にしろ」口々にわめき立てる。

「何が官吏だ。蚊蜻蛉野郎どもそれッ！」横なぐりに、先頭の一人の胸腹を拂つた。

「あッ！」サツと血しぶきあげて、その場に崩折つた。

たま、遠くのがれた。新島原の跡、さきほどの妓樓のあき家の二階……。

そこまでのがれて来て、大志賀は、をんなにいつた「おとわ、もう大丈夫だ」

「はい」しかし、まだ、安心してはならない、こゝもまたふたりにとつては、いばらの道だつたのだ。

巡察が追つて来るだらうとひ彼等からのがれることが出来ても、どうせ夜が

明けるまでの命だ。東京の真ん中しかもがらんどるな妓樓の廢屋にすがた怪しげな界女がひそむでをること

はゆるされた。それに重態のおとわは苦しい息づかひをしてをる。「おとわ、くるしさうだな……」

「はい、いゝえ」何が、もう少しなのか、自分でもわからなかつた。

「命が、惜くないか」巡察たちはわめいた。「命が惜けりや、消えてなくなれ」

ホテル館の亂闘をあとに萬事を白浪三人にまかして大志賀は、おとわを背負ふ

たま、遠くのがれた。新島原の跡、さきほどの妓樓のあき家の二階……。

そこまでのがれて来て、大志賀は、をんなにいつた「おとわ、もう大丈夫だ」

### 喜多流 謡曲と仕舞の稽古をお奨め致します

平町田町六九 電話一二七番

喜多流 謡曲と仕舞の稽古をお奨め致します

### 内外科一般

### 金成 醫院

平鎌田町(電三五八)

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九

良品廉賣に勝る商略なし

確實敏捷は生命なり

## 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
平町田町 電話五一三番

## 耳鼻咽喉科専門

## 大和田醫院

平町 南町一六(電話一七〇番)

來ました!!!皆様の待兼ねの便利のお寒くなりお召物の御繕ひに助ります。新時代に適合せる經濟的重寶な家庭必需品を發賣裁縫代用

### 糸イラズ

(一名針イラズ) 一に家一實 備 重 寶

◎三越。白木屋で非常に好評のイトイラズ即ち糸針を用ひず、織物布類の縫合せ(繕ひ)が出来る……(然し針で出来ない事が出来る)

靴下、シャツ、足袋、毛織物、股引、洋服、オーバートンビ等の穴アキの繕ひ

### 特徴

- 何回洗濯しても離れる事なし
- 伸縮自在(メリヤス等にもよし)人無害
- 硬化する事なし(コハバラス)
- 耐水、耐熱、耐酸、耐寒、耐鹽にして(イトイラズ)裁縫代用液は多年研究し完全無欠の確信を以て發賣せるものなれば絶対に他の追従を許さざる事を自負す。
- イトイラズは本舖にて絶対責任を負います。
- ニセ物あり御注意願ひます。

定價 特用用品 203050

福島縣平町古銀治町一〇縣社下

代理店 阿康藥局

特約店募集 早い勝ち